

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年1月29日

上場会社名 株式会社 大興電機製作所

（コ-ド番号：6710 東証第二部）

（URL <http://www.taiko-ew.co.jp>）

代表者 役職名 取締役社長 氏名 原島 進

問合せ先責任者 役職名 総務部長 氏名 渡部邦治

TEL (03) 3788-9011

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期の業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高

（百万円未満切捨）

	百万円	%
16年3月期第3四半期	13,319	3.1
15年3月期第3四半期	12,918	-
（参考）15年3月期	18,993	

（注） 売上高は、当該四半期までの累計値です。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示します。

平成15年3月期第3四半期の売上高についての開示は行っておりませんが、当第3四半期と同様の方法により算出したものです。

売上高の数値については、監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、好調な輸出や企業の設備投資増から企業収益の改善が見られたものの、ドル安・円高の進行やデフレ基調が続いており、個人消費も本格的な回復には至らず、先行きの不安感が解消できない状況で推移しました。

通信機器市場は、市場環境・構造改革が進むなか、低調な有線端末機器に対し、携帯電話の生産やIP網設備への投資が好調に推移しました。

このような状況下、当企業グループは、IP化・ブロードバンド化に対応したビジネスホンの売上が順調に推移し、全体としての売上高は、前年同期比4億1百万円増の133億19百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象

当企業グループは、市場環境の急激な変化と市場競争の激化に対応して事業基盤を確立し、情報通信業界において強みを発揮できる市場でのトップシェアを目指して、株式会社田村電機製作所との経営統合を行います。

2月2日に株式移転により持株会社「田村大興ホールディングス株式会社」を設立し、当社および株式会社田村電機製作所はその傘下に入ります。その後、4月をめぐり、両社は共同新設分割により持株会社の子会社として統合会社を新設し、事業統合する予定です。

3. 平成16年3月期の連結業績予想

第3四半期については、概ね計画通りの状況でありますので、通期の業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、発表日現在の入手可能な情報に基づいたものであり、今後様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上